



ラクテーション・コンサルタントの国際業務分析の要旨

2015年1月

本研究の目的は、職業資格試験の継続的発展における第一歩として、ラクテーション・コンサルタント (LC) の責務を明らかにすることです。ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®) は、Applied Measurement Professionals, Inc. (AMP) に、国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 資格試験に用いられた記述を裏付けるために、内容に関する根拠を示す研究を行うよう、依頼しました。

IBLCEは、国際業務分析タスクフォース (PATF) を、ラクテーション・コンサルタントの責務を明らかにし、試験仕様を開発するために必要な活動の監視機関として任命しました。PATFは現行および以前のIBLCE評議会のメンバーから構成されており、全員が当該分野の専門家です。英国出身の、Janine Stockdale (PhD, PG CHSE, BSc.Hons, RM, RN) は、PATFの会長として、本研究で使用される調査の開発を指揮するとともに、本レポートに貢献しました。PATFは、あらゆる面、つまり、地理的、専門分野、責任レベル、学歴、性別、労働環境などにおいて、ラクテーション・コンサルタントを反映するものでした。。

調査方法

世界中のLC業務分野を代表する専門家から幅広くアイデアを提供してもらうために、PATFはフォーカスグループのディスカッションに諮問委員会を参加させることを決定しました。フォーカスグループを準備するにあたり、PATFは、教育や評価など、役割を捉えると考えられるコアスキルや業務の暫定リストをマッピングすることによって、内容を特定するプロセスを開始しました。母乳育児の教科書がこのプロセスにおける第一段階において使用されました。リストが完成すると、PATFはテーマをより管理しやすいリストに落とし込むプロセスを開始し、知識や具体的なラクテーションスキル、業務の主要分野を特定するために、さらにリストを統合しました。このようにして、次の4つの分野のフォーカスグループにより、有効な、実務ベースの調査内容に関する情報が提供されることになりました。

- 母乳育児を行う母親のケアに関する専門家グループ
- 母乳育児を受けている子どものケアに関する専門家グループ
- 母乳育児を受ける前の子どものケアに関する専門家グループ
- 母乳育児教育、監査、戦略的計画の専門家グループ

専門家の代表グループが各該当分野のフォーカスグループで利用できるよう、PATFは、次の基準をSME（当該分野の専門家の代表グループの特定と選定におけるガイダンスとして採用することを承認しました。

- 現在認定を受け、活動しているラクテーション・コンサルタント
- コンサルタント経験レベルにおける多様性（初心者レベルから熟練レベルまで）
- IBLCE地域内の国際代表（アメリカ大陸/イスラエル、アジア太平洋/アフリカ、ヨーロッパ/中東/北アフリカ）
- 参加へのコミットメント

当該分野の専門家 (SME) として働くボランティアの目的と責務をまとめた職務明細書が作成されました。国際ラクテーションコンサルタント協会® (ILCA®) との協力のもと、職務明細書および関心表明の依頼が、関連データベースを経由し、活動中のラクテーションコンサルタントに対してメールで送信され、関心を持ったコンサルタントがIBLCEに対してそれを表明しました。また、参加見込み者に対しては、4つのSMEサブグループの1つに関して、現在の専門知識分野を概略するよう依頼しました。PATFは1つのサブグループにつき少なくとも6名の参加者とグループファシリテーターを含めることを求めました。

関心の表明は、IBLCEの3つの地域（アメリカ大陸/イスラエル、アジア太平洋/アフリカ、ヨーロッパ/中東/北アフリカ）のラクテーション・コンサルタントから得られました。選抜プロセスを進めるにあたり、PATFは最適な当該分野のグルーピングを特定するために、基準ベースの選抜プロセスに従いました。基準には国際的な代表に加え、アメリカ大陸の地域から十分な代表を確保することが含まれました。最初の選抜プロセスに続いて、ガイダンス基準が再検討されました。選抜された参加者はその基準に一致していましたが、新しいラクテーション・コンサルタントは少数である可能性が指摘されました。このような限定的要素に対処するため、参加する専門家の再配置が慎重に検討されました。結果として、教育、監査、戦略的計画グループに当初選抜されたSMEは、授乳中の母親、授乳中の子ども、授乳前の子どものケアという、3つのグループに再配置されました。2013年5月に開始した一連のオンライン会議は、国際的リーダーシップの職務経験を持つ、熟練したラクテーション・コンサルタントが進行を務めました。各グループは、授乳中の母親、授乳中の子ども、授乳前の子どものいずれかのケアにまずフォーカスしたあと、教育、監査、将来的計画に関連した内容を話し合うことが求められました。

SMEグループを円滑に進めるために、グループのファシリテーターには次のリソースが提供されました。

1. PATF認証済みの授乳に関する教科書を使って作成された**想定される業務内容の概要**。
2. プロジェクトの目的、目標、プロセス、タイムラインを参加者に提供するためにPATFにより作成された**パワーポイントによる紹介プレゼンテーション**。
3. PATFおよびIBLCE評議会により作成された**ターゲット層に関する説明**。

IBCLCはヘルスケアチームのプロフェッショナルメンバーであり、母乳育児の管理とケアにおける知識と専門知識を特定する資格を得て、維持しています。この資格を持つ人は定義された資格要件を満たし、

(<http://www.iblce.org/upload/downloads/CandidateInformationGuide.pdf>)厳密で心理統計学の裏付けのある試験に合格しました。1985年以来、IBCLCの資格はコンサルタントとして、IBCLCが必要な知識を有していることを証明するものです。

- 世界的公衆衛生の責務として、母乳育児を推奨し、教育する
- コミュニティから政治家に至るまで、社会を指導する
- 母乳育児を支援する環境を推進する
- 家族に対して最適な母乳育児の経験を支援する
- 重大な授乳に関わる課題を特定し、管理する

IBCLCは、独立し、協力しながら、母親、子供、家族の母乳育児の目標がかなうよう支援します。

2013年3月

4. 特定された主なステークホルダーグループの暫定リスト。
5. 調査項目の例。

さらに、職務、能力、知識、スキルを組み込んだ内容の開発に重点が置かれました。表1で示される情報はグループディスカッションの前にファシリテーターに伝えられました。

表1.フォーカスグループディスカッションのガイドライン

サブグループの分類に関連した内容にフォーカスする：	ターゲット層の説明および4つの暫定調査分野について話し合う
	現在の専門職を説明する（職務における傾向を含む）
	能力、知識、機能など、LCが達成すべき業務にフォーカスする（新たな認定者が保有すべきものを含む）
ファシリテーターとしての役割	グループの合意を目指し、グループのディスカッションを正しく記録する（筆記用具が提供されます）
	基本原則（機会均等）、参加およびコメントへの期待、同意/同意しないの表明を定め、必要に応じ、妥協するよう提案する
	必要に応じ、有意義な迅速化を図る
	最重要事項 - 重要な要素の話し合いに関して、グループディスカッションを評価する

内容を統合するプロセスは、図1で概説されているプロセスに従いました。

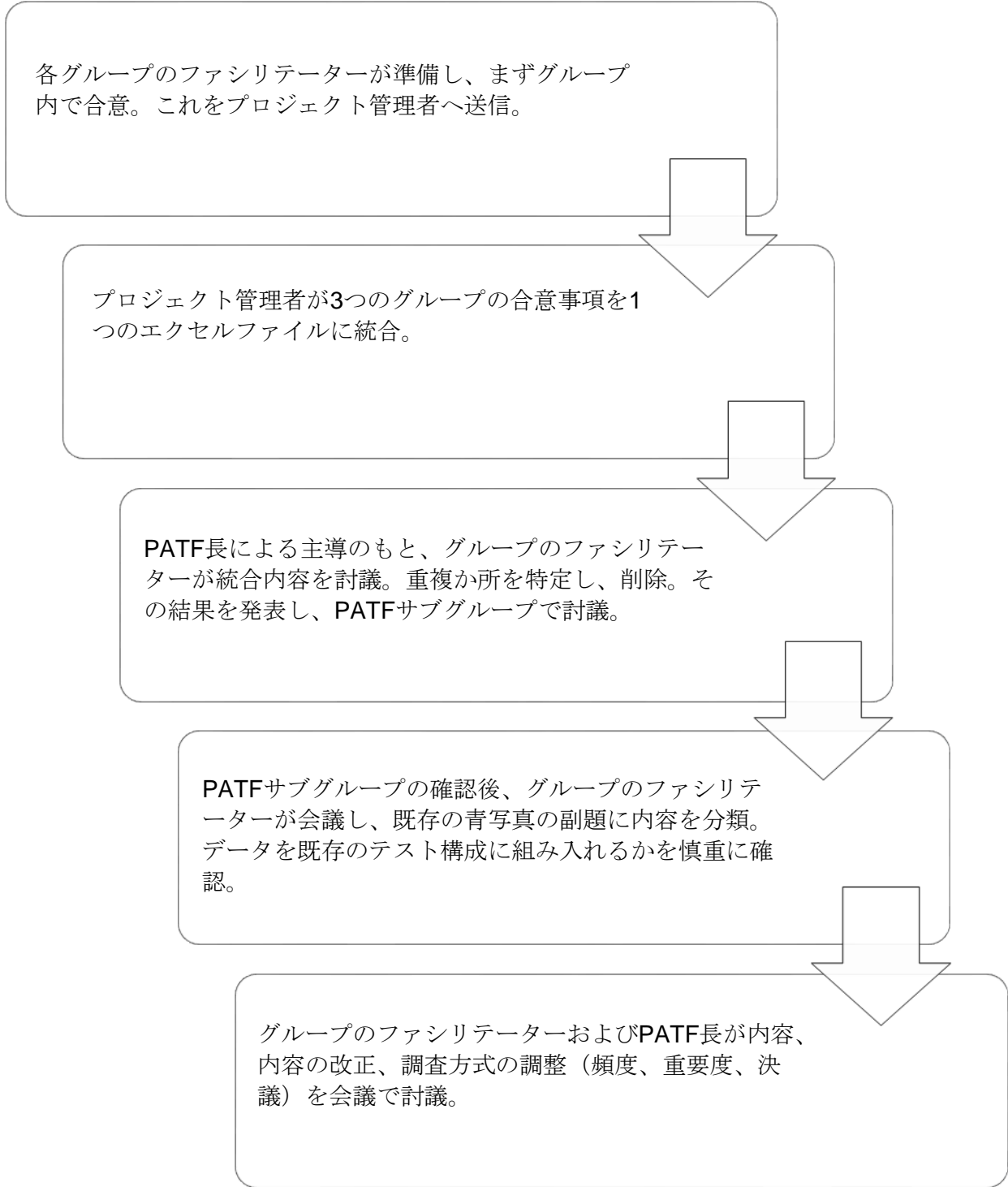


図1.フォーカスグループのファシリテーションプロセス

フォーカスグループディスカッションの結果に基づき、調査案が設計されました。これには、臨床プレゼンテーションのトピック、臨床スキルのトピック、関連する人口変動が含まれました。ラクテーション・コンサルタントのグループ (n=16) は、様々な地理的、業務的環境を代表しており、調査をレビューし、指示の明確化、質問の明確化、実務ベースの省略、調査の所要時間に関するフィードバックを提供しました。フィードバックはPATFおよび3名のSMEグループリーダーにより確認、レビューされました。大きな変更は必要ありませんでしたが、使用中のラクテーション用語の明確化など、軽微な変更が行われました。修正された調査は、AMPのサイコメトリックスタッフのレビューのために転送されました。PATFがいくつかの提案をレビューした後、調査の修正が行われ、サイコメトリックチーム、PATFのメンバー、SMEリーダーが再度個別にレビューしました。調査内容の最終承認後、評議会によりレビューされ、配信言語（ドイツ語、韓国語、フランス語、日本語、オランダ語）に翻訳されました。翻訳は、試験内容に精通したSMEによる翻訳および逆翻訳により行われました。

業務分析調査の最終版は次の3つの分野で構成されました。

- 1: 知識分野
- 2: 母乳育児管理およびケアを提供する特定の臨床能力
- 3: 人口統計的背景情報

参加者には、回答は機密とされ、説明された研究目的に限り使用されることが伝えられました。調査の所要時間は20～30分と想定されました。各知識分野は以下の2種類の評価スケールで測定されました。

1. 頻度：通常、どのくらいの頻度で臨床問題を評価し、教育し、取り扱っていますか？
 - (1) わからない
 - (2) 月に1回未満
 - (3) 毎週ではないが、少なくとも月に1回
 - (4) 毎日ではないが、少なくとも週に1回
 - (5) 毎日
2. 重要度：この臨床所見はどの程度母乳育児に重要ですか？
 - (1) あまり重要ではない
 - (2) 重要
 - (3) 非常に重要

各臨床スキルは次の評価スケールにより測定されました。

あなたが利用する次の臨床スキルを頻度の観点から評価してください。

- (1) 仮にあったとしても、稀
- (2) 時々
- (3) いつもではないが、通常

人口統計結果

調査はオンラインで行うことができました。表2は調査言語ごとに送信された招待数および、IBLCEにより認証されているかどうかを示しています。28,079通のメールによる招待が送信され、7,217の回答があり、結果として、未加工の回答率は26%でした。調査75%未満しか完了していない参加者のサンプルサイズを除くと、表2の最後の欄にあるとおり、合計で6,377名の回答が有効とみなされました。これにより、回答率は23%に訂正されました。

表2.調査言語ごとに送信された招待数と有効な回答数

調査言語	送信された招待数			有効な回答数
	IBCLC	IBCLC以外	合計	
オランダ語	590	40	630	162
英語	19,070	1,974	21,044	4,706
フランス語	1,015	167	1,182	422
ドイツ語	2,096	235	2,331	680
日本語	732	172	904	285
韓国語	1,606	382	1,988	122
合計	25,109	2,970	28,079	6,377

人口統計の質問に対する回答の要約は以下の図と表に示されています。PATFとのディスカッションに基づき、人口統計データは概して予想どおりであり、専門職を代表するものと判断されました。回答者グループが代表的であることを確認することに加えて、関連するサブグループから適切な回答数を得たかどうかを判断することが重要でした。PATFは続く分析に対する関連サブグループから十分な回答が得られたと断定しました。

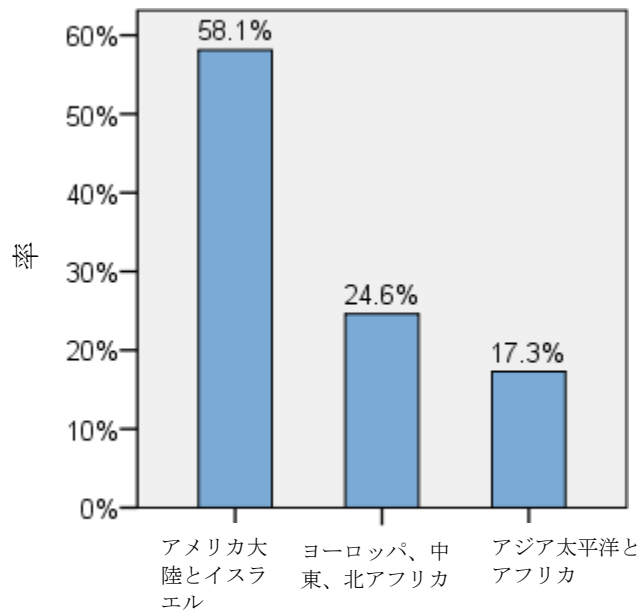


図2. IBLCE地域

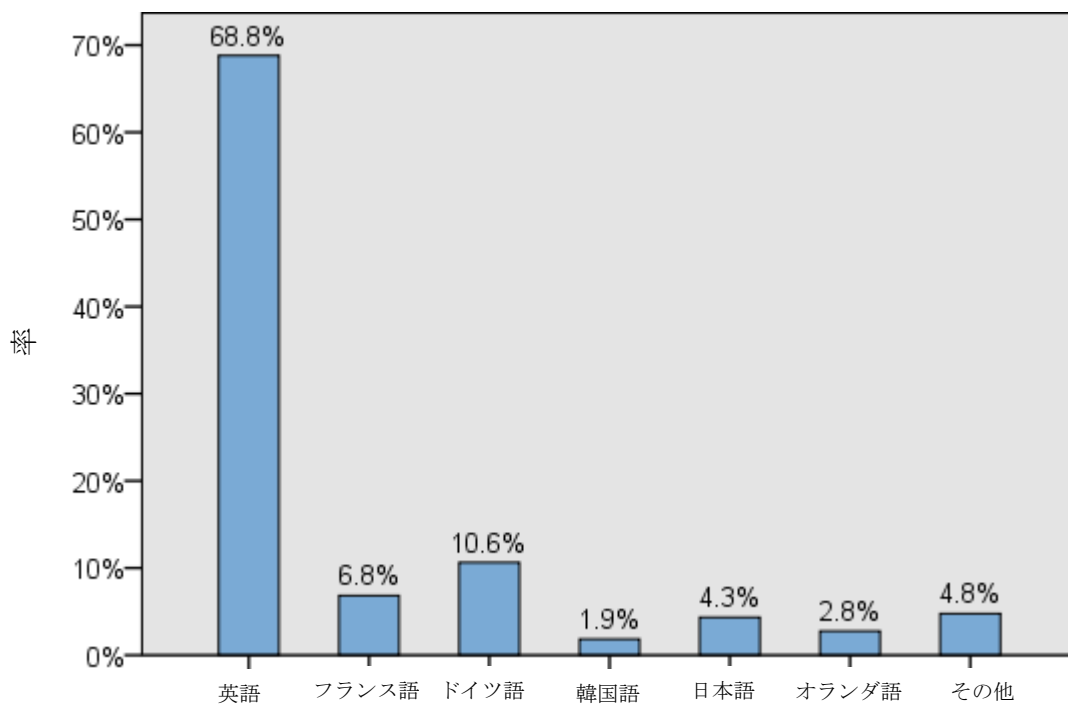


図3.第1言語

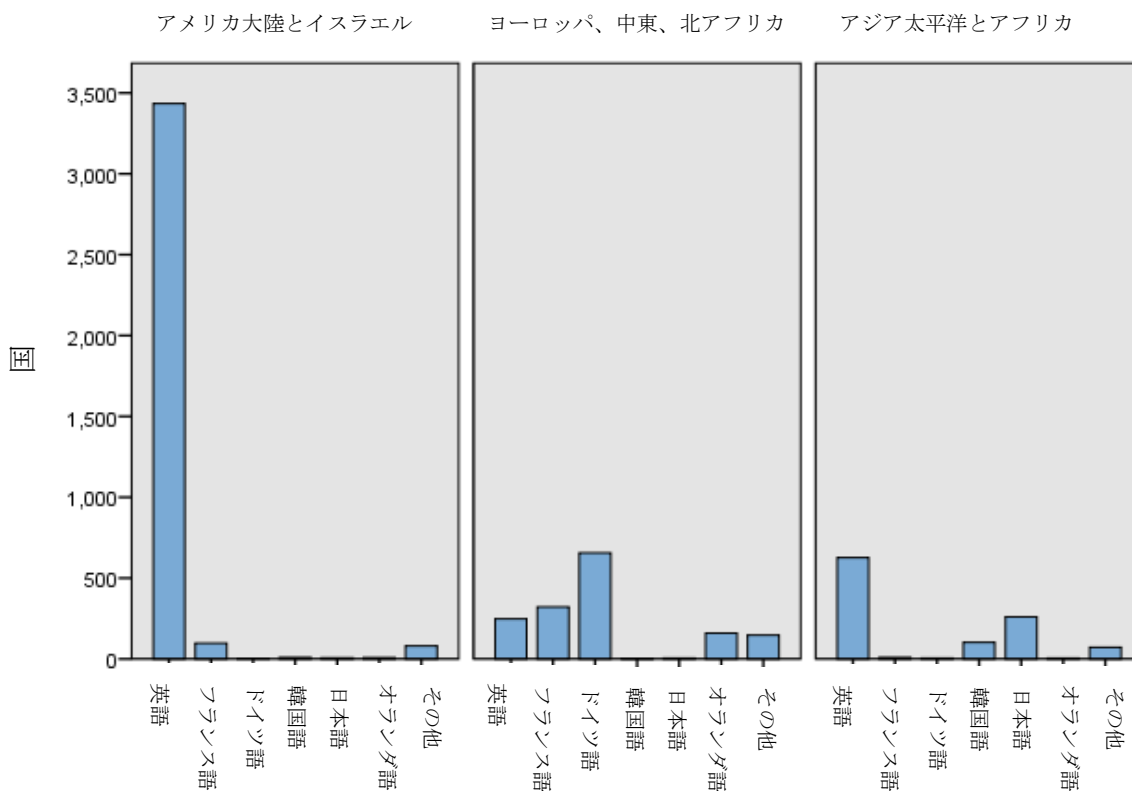


図4.IBLCE地域別第1言語

次のスケールを使って、各クライアントの年齢グループに対して、どのくらいの頻度で取り組んだかについて質問しました。

- (1) まったく取り組まなかった
- (2) 月に1回未満
- (3) 毎週ではないが、少なくとも月に1回
- (4) 毎日ではないが、少なくとも週に1回
- (5) 毎日

表3で示された結果により、生後0～14日のクライアントの頻度（毎日ではないが、少なくとも週に1回）が最も高いことがわかります。頻度が最も少ないグループは妊娠前の女性で、月1回未満でした。表4は回答者が取り組んだクライアントの年齢の割合を示しています。表3の頻度の質問に対する回答とよく似た傾向が見られます。

表3. 次のクライアントグループについて、どのくらいの頻度で取り組んでいますか？

	平均
妊娠前-母親	1.7
出産前-母親	3.0
陣痛-母親/出生-周産期	3.1
早産	3.4
0～2日	4.1
3～14日	4.3
15～28日	3.6
1～3か月	3.3
4～6か月	2.8
7～12か月	2.6
12か月以上	2.3

表4. 次の年齢グループにおいて、どのくらいの割合で乳幼児の母親を扱っていますか？

	平均	標準
妊娠前-母親	4.0	18.8
出産前-母親	18.5	26.4
陣痛-母親/出生-周産期	27.7	38.6
早産	19.6	42.7
0～2日	44.7	39.0
3～14日	38.9	128.2
15～28日	21.0	46.1
1～3か月	16.9	23.5
4～6か月	11.3	19.1
7～12か月	8.7	21.3
12か月以上	6.8	19.5

以下の図はその他の人口統計質問に対する回答を示しています。まず、全体の回答、次にIBLCE地域別の内訳です。

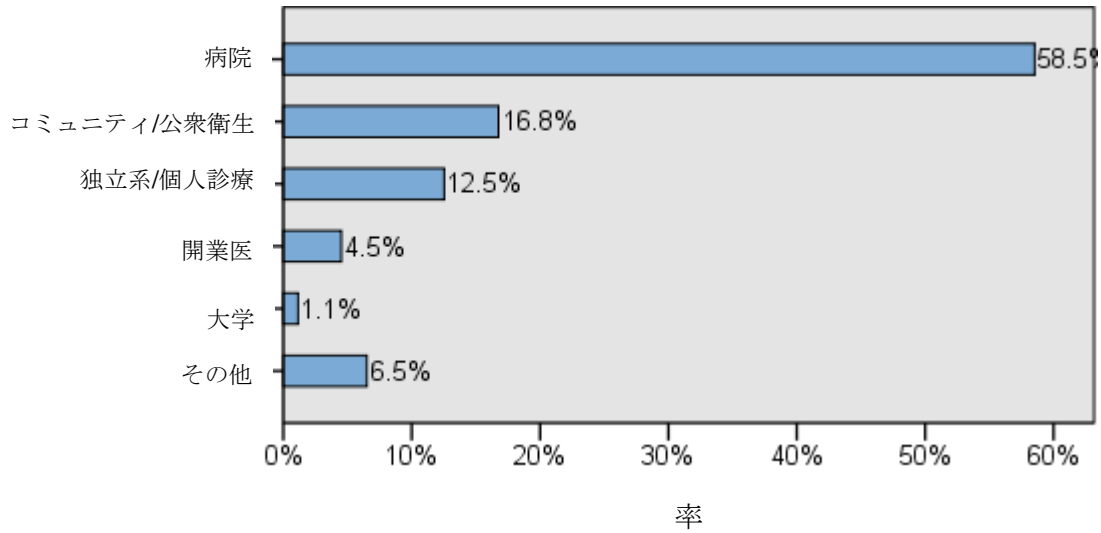


図5.主な職場

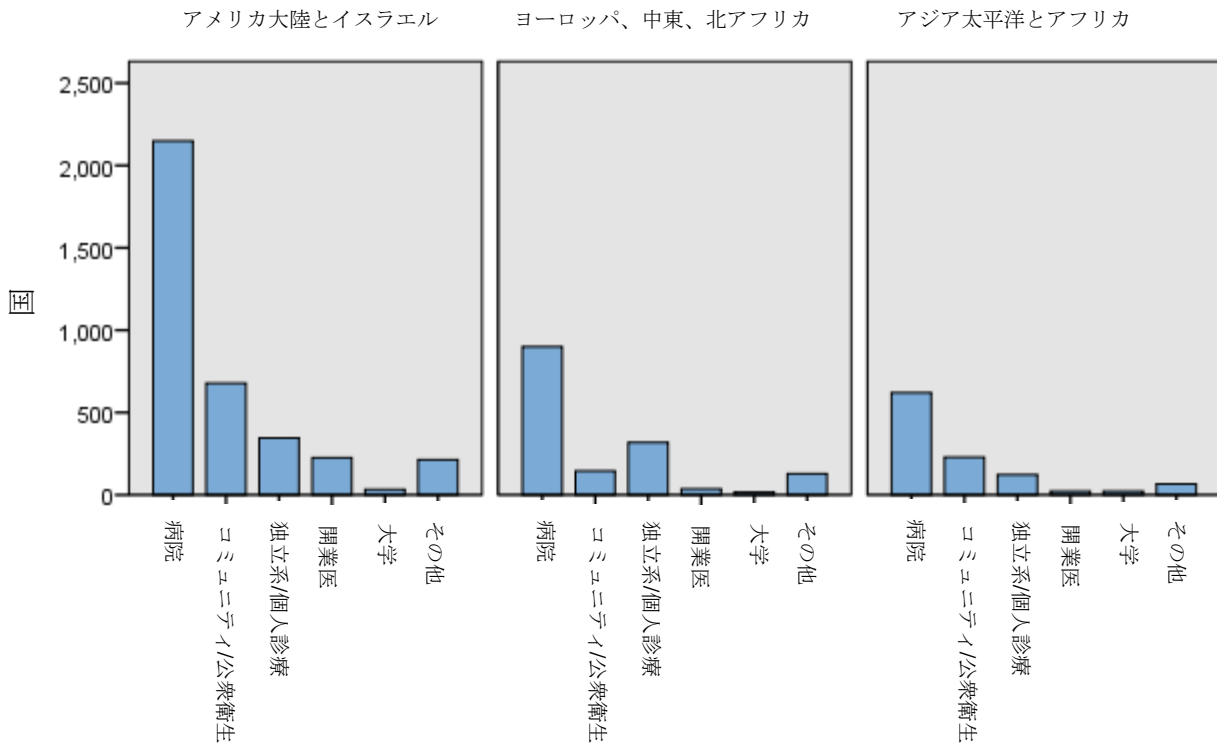


図6.主な職場-IBLCE地域別

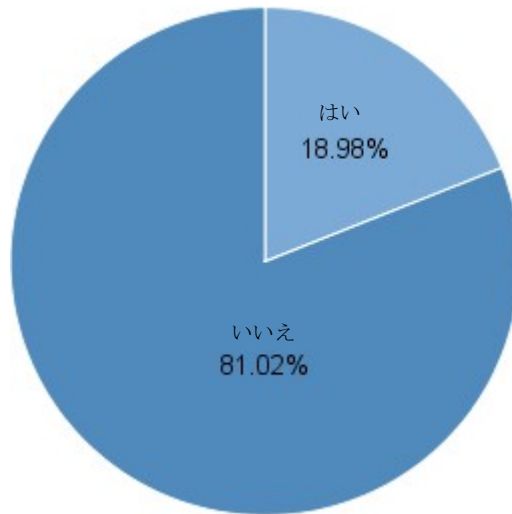
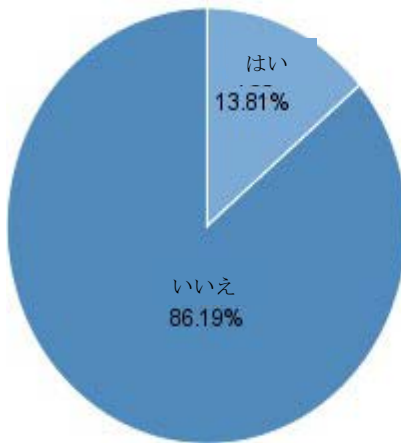
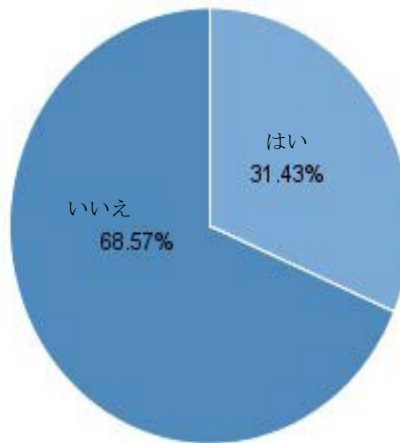


図7.自営業ですか？

アメリカ大陸とイスラエル



ヨーロッパ、中東、北アフリカ



アジア太平洋とアフリカ

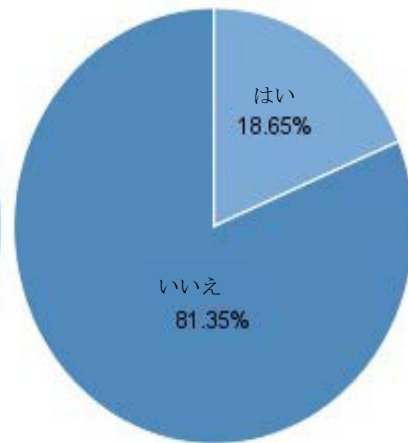


図8.自営業ですか？-IBLCE地域別

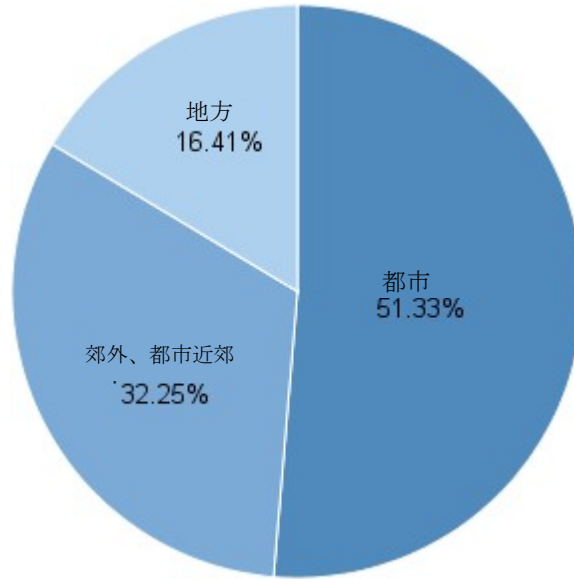


図9.就業場所

アメリカ大陸とイスラエル

ヨーロッパ、中東、北アフリカ

アジア太平洋とアフリカ

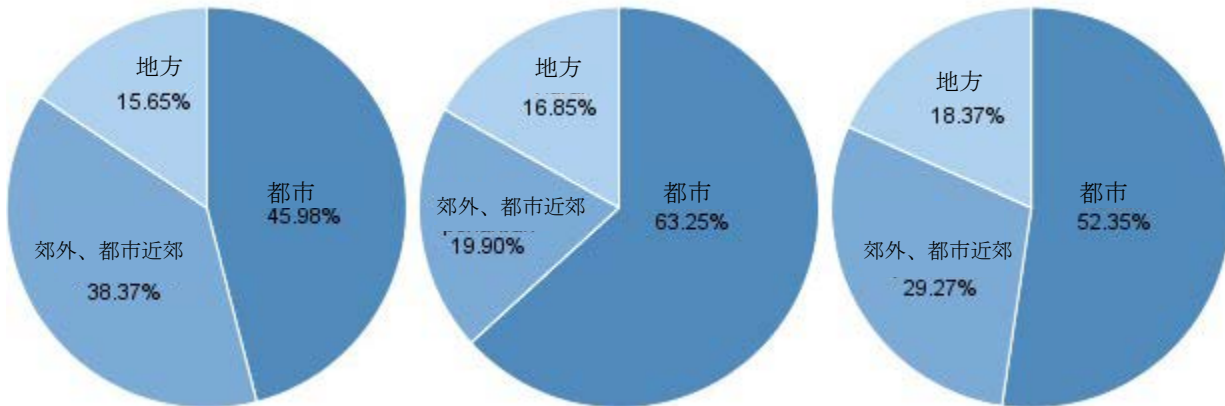


図10.就業場所-IBLCE地域別

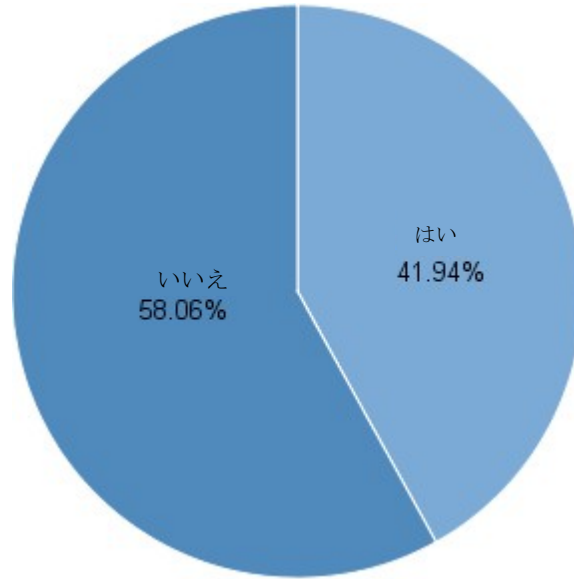


図11.IBCLC認定は雇用主が要求していますか？

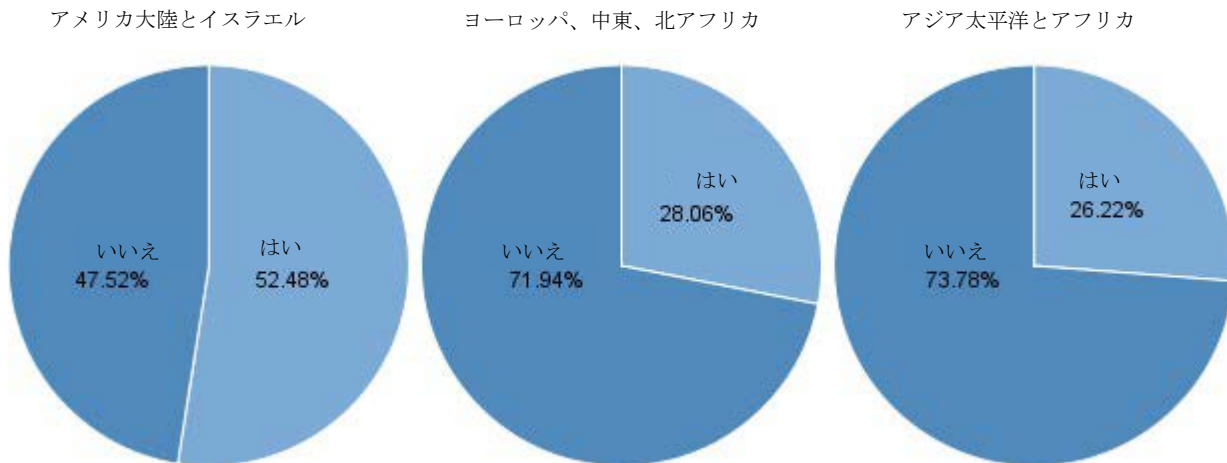


図12.IBCLC認定は雇用主が要求していますか？-IBLCE地域別

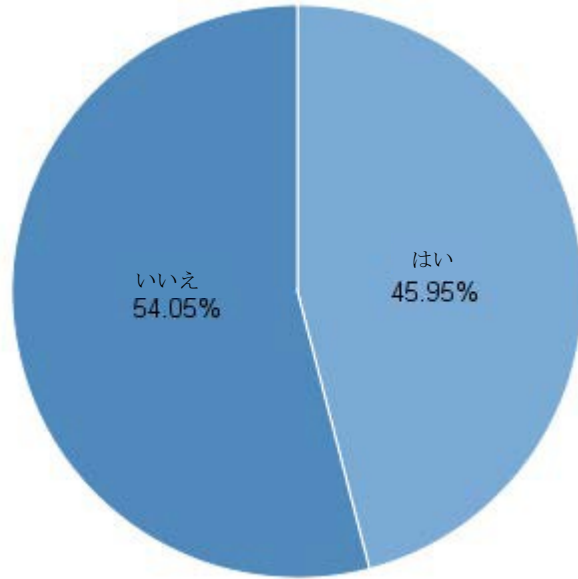


図13.母親から母親への支援経験がありますか？

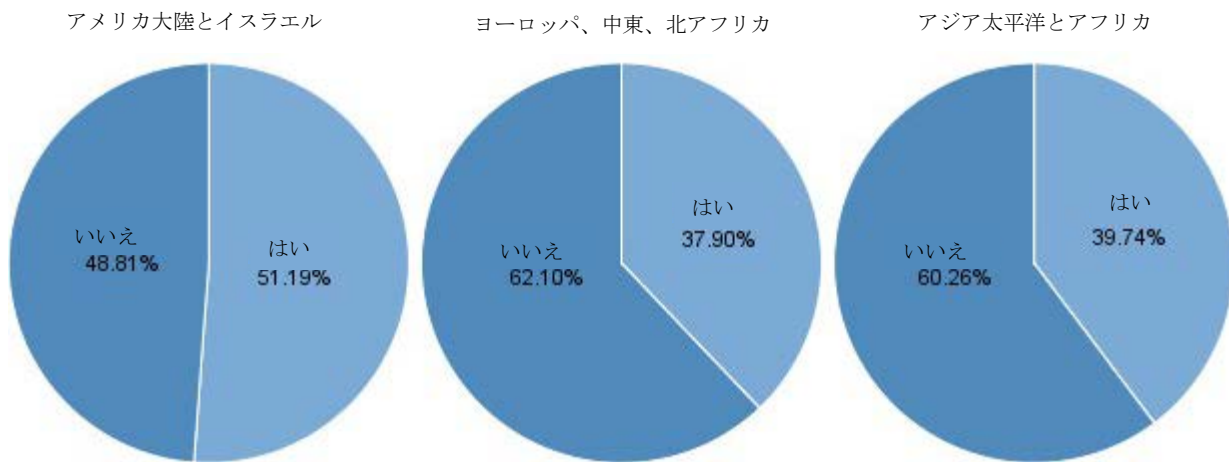


図14.母親から母親への支援経験がありますか？-IBLCE地域別

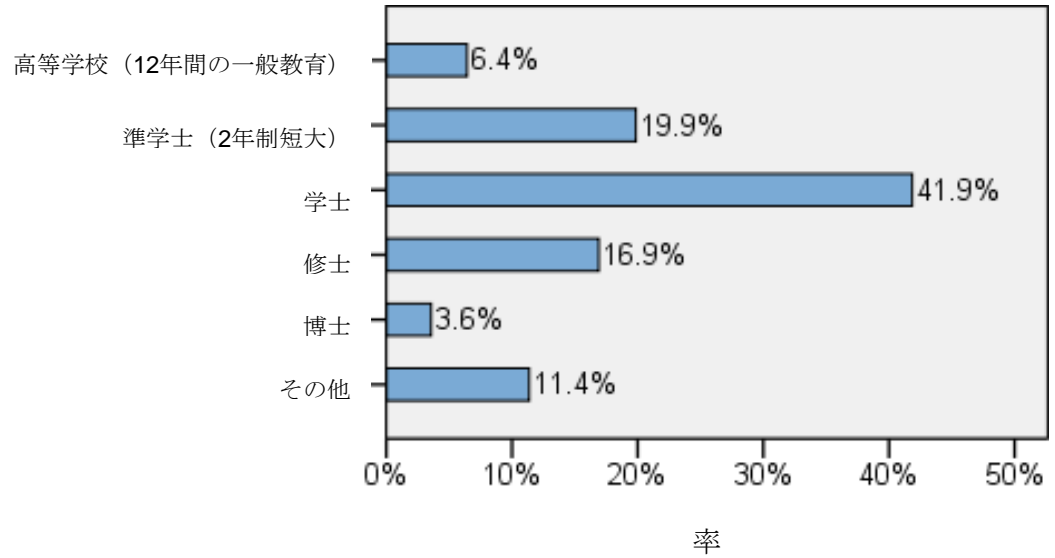


図15.最終学歴 (米国または準ずる)

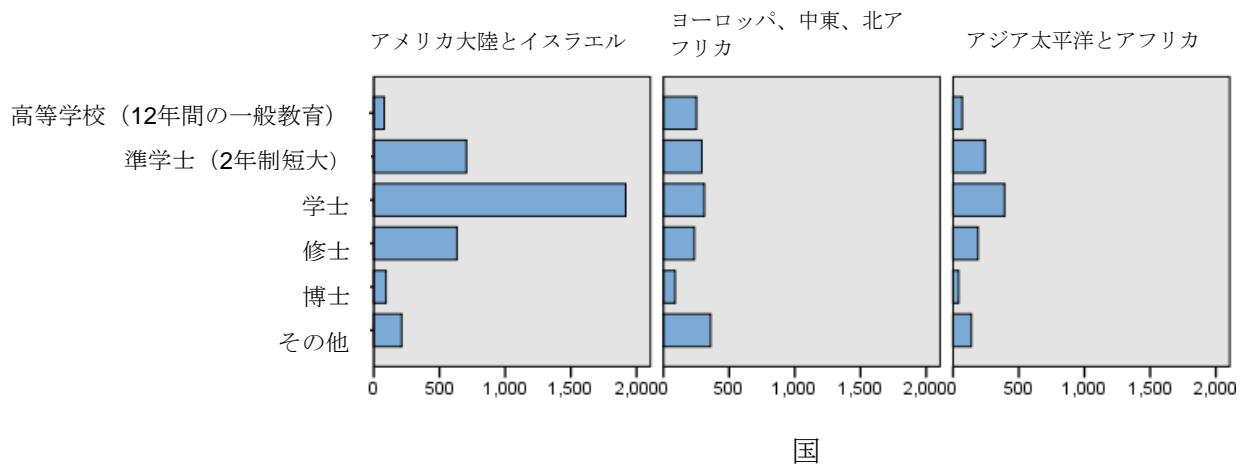


図16.最終学歴 (米国または準ずる) -IBLCE地域別

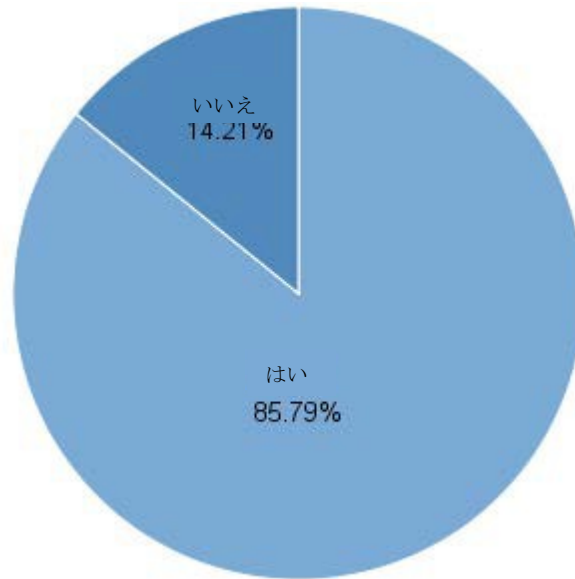


図17.IBLCEの認定を受けていますか？

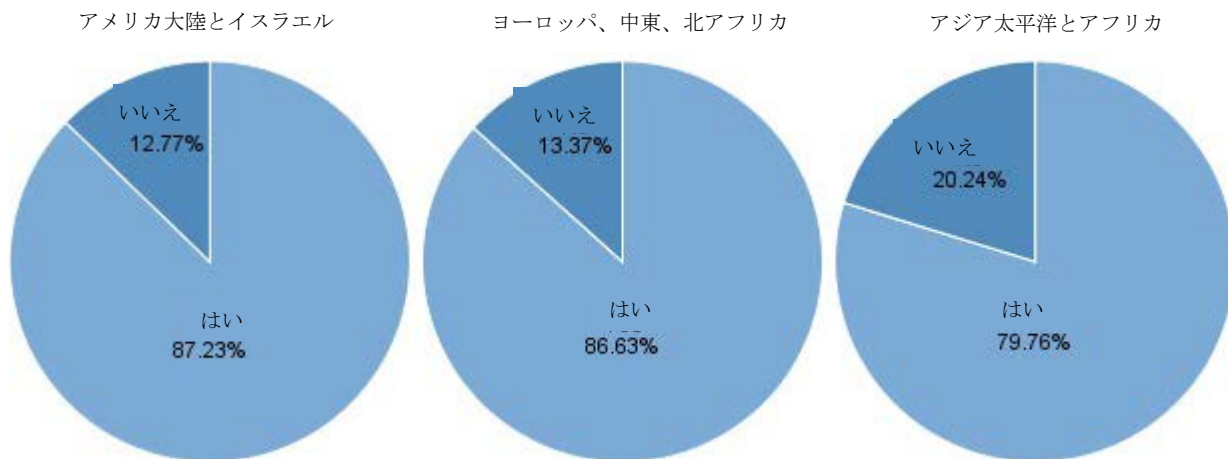


図18.IBLCEの認定を受けていますか？-IBLCE地域別

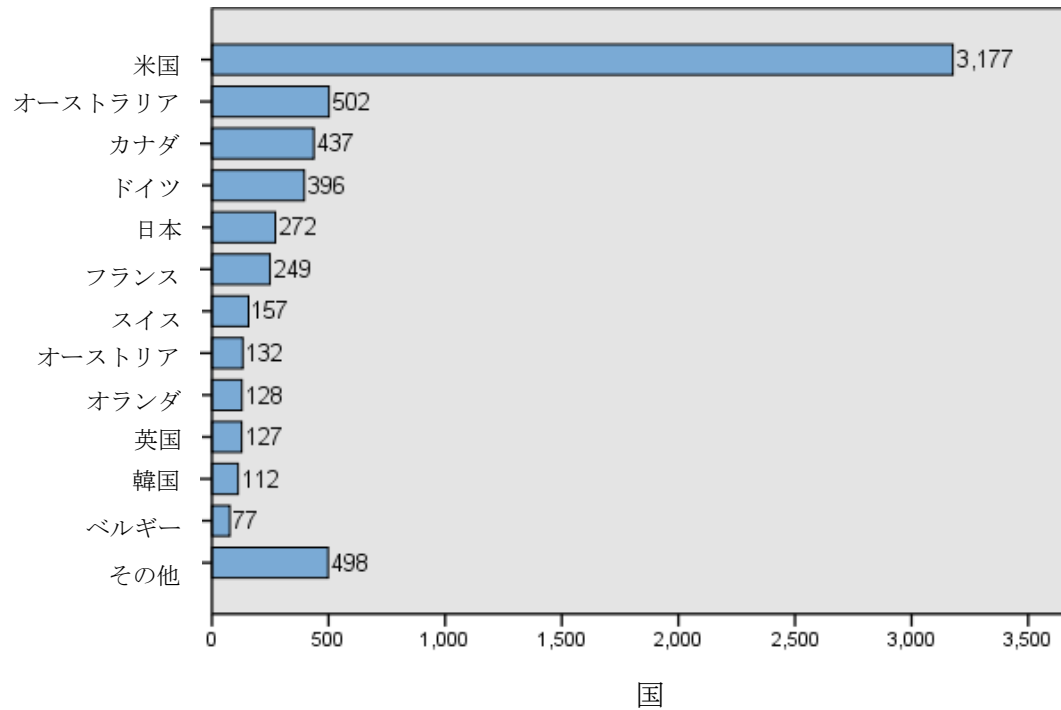


図19.どの国で活動していますか？

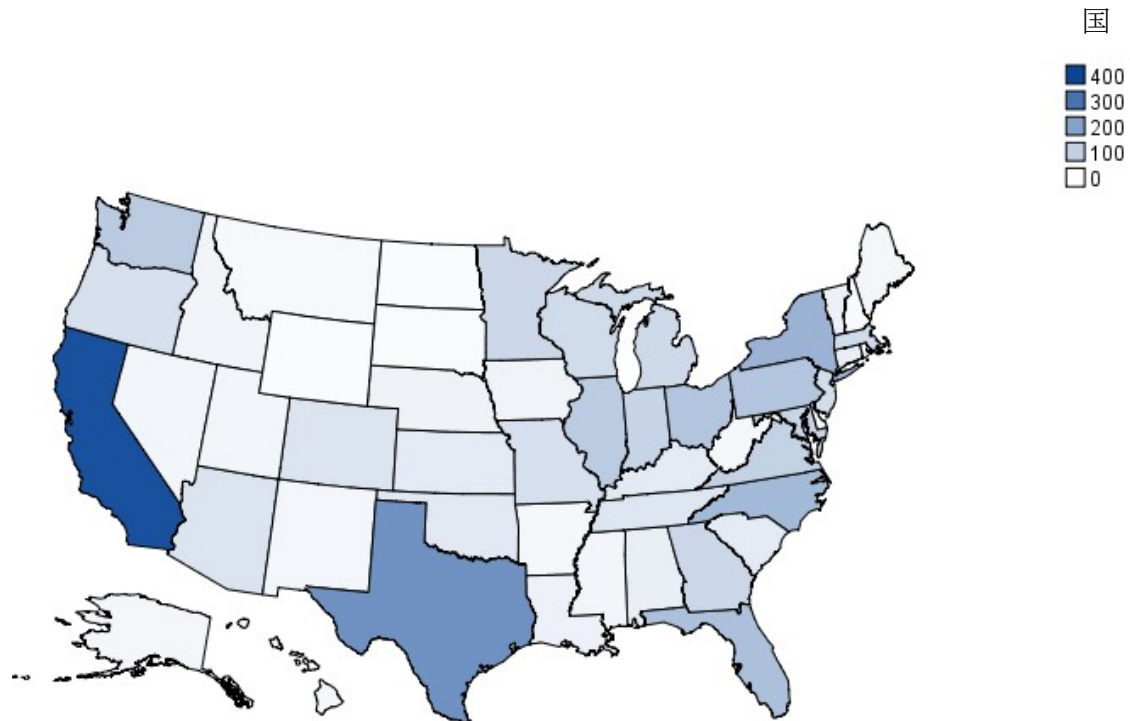


図20.米国在住の場合は、主な居住州を選択してください。

表5.その他の専門職資格および/または登録

	頻度	率
栄養士	277	4.9
助産師	1,337	23.5
看護師	4,169	73.4
理学療法士または作業療法士	25	0.4
医師	280	4.9
医師助手	45	0.8
その他（具体的に）	752	13.2
合計	6,885	121.2

*注：複数回答が可能なため、合計は100%とはなりません。

表6.試験前の教育ソース

	頻度	率
大学の通学コース	2,049	32.7
大学/短大のオンラインコース	542	8.7
独立系教育機関によるオンライントレーニング、カンファレンス、コース、ウェビナー	2,707	43.2
専門団体によるワークショップ、セミナー、講義	3,442	54.9
病院や公衆衛生部門など、雇用主による実地トレーニング	2,059	32.9
書籍および/またはオンラインによる個別の学習モジュール	1,972	31.5
認定プログラムなど、コースに基づくアセスメントに合格後、資格を授与するコース	2,299	36.7
その他（具体的に）	246	3.9
合計	15,316	244.5

*注：複数回答が可能なため、合計は100%とはなりません。

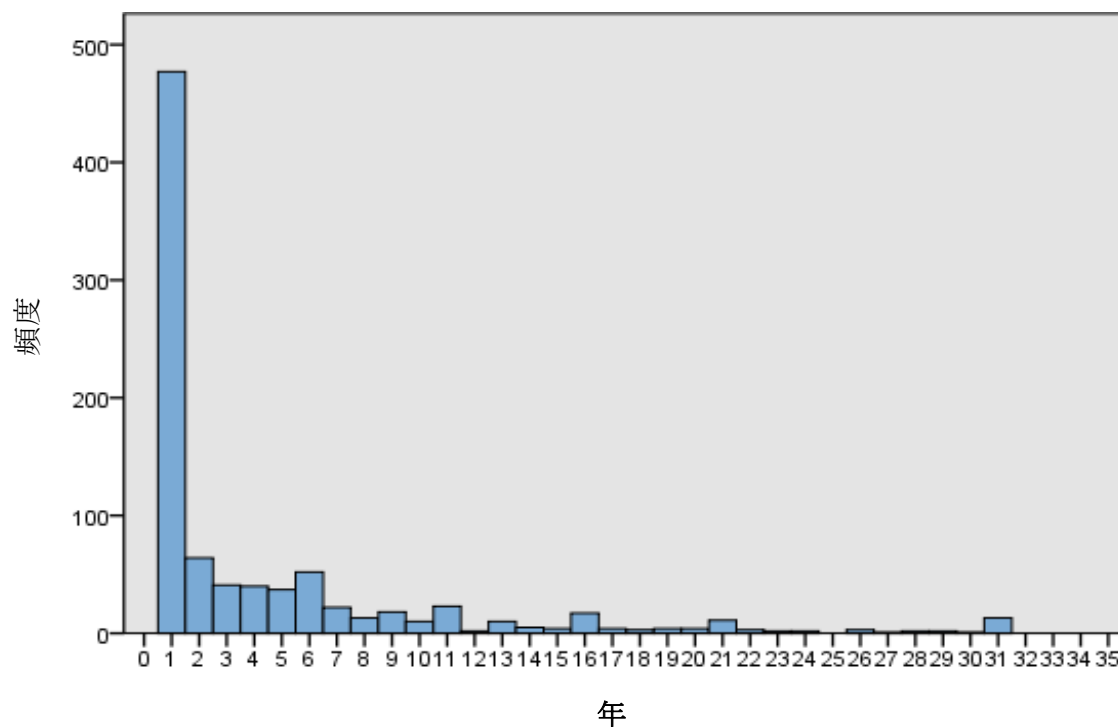


図21. (IBLCEの認定を受けていない場合) ラクテーション・コンサルタントとしての経験は何年ですか？

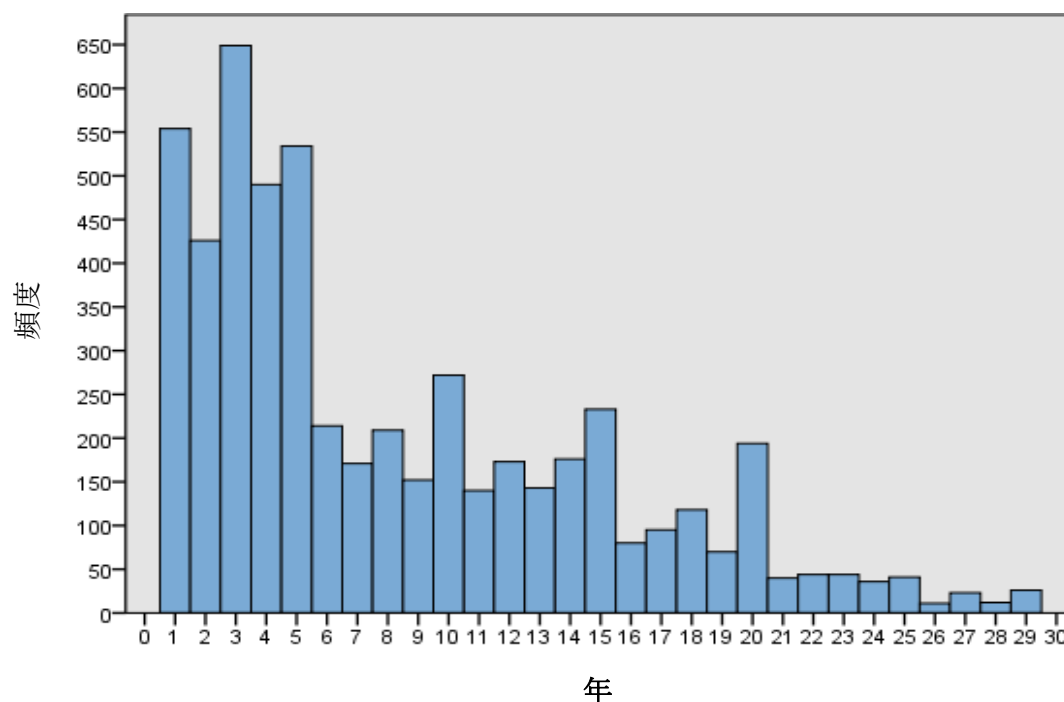


図22. (IBLCEの認定を受けている場合) IBCLCとして認定された年数 (四捨五入)

臨床所見および臨床スキル関連の結果

回答者からのデータを収集するために、回答者は前述の評価スケールを使用し、臨床所見トピックを判定しました。頻度の平均率は**1.17**（#40: 小児がん）から**4.63**（#82: 授乳姿勢）の範囲でした。頻度の平均率は**3.10**で、全**85**の臨床プレゼンテーションに対して算出され、標準偏差は**0.89**でした。全**85**のトピックに対する頻度率のグループ別頻度の分布は表7に示されています。

表7.トピック頻度の平均率の分布

平均率	頻度	率
4.49以上	3	3.5
3.50-4.49	27	31.8
2.50-3.49	32	37.6
1.50-2.49	22	25.9
1.49未満	1	1.2
合計	85	100.0

重要度の平均率は**1.55**（#17: 母親の運動）から**2.91**（#79: 吸着）の範囲でした。重要度の平均率は**2.30**で、全**85**のトピックに対して算出され、標準偏差は**0.30**でした。
0.30. グループ別頻度の分布は表8に示されています。

表8.トピック重要度の平均率の分布

平均率	頻度	率
2.49以上	24	28.2
1.50-2.49	61	71.8
1.49未満	0	0.0
合計	85	100.0

コンテンツ全体の重要度を把握するために、頻度率を重要度率でかけた、臨界指標が作成されました。臨界指標を解釈するガイドラインは表9で示されるとおりですが、重要度の低いものは左上、重要度が最も高いものは右下になっています。

表9.臨界指標：頻度* 重要度

	最低 (1)	中間 (2)	最高 (3)
一度もない (1)	1	2	3
毎年 (2)	2	4	6
毎月 (3)	3	6	9
毎週 (4)	4	8	12
毎日 (5)	5	10	15

平均臨界指標2.11（#40: 小児がん）から13.53（#79: 吸着）の範囲でした。臨界指標の平均率は、全85のトピックに対して算出され、7.62でした。標準偏差は2.89でした。全85のトピックに対する平均臨界指標のグループ別頻度の分布は表10に示されています。

表10.平均トピック臨界指標の分布

平均臨界指標	頻度	率
12.49以上	4	4.7
10.50-12.49	12	14.1
9.50-10.49	6	7.1
8.50-9.49	12	14.1
6.50-8.49	18	21.2
5.50-6.49	12	14.1
4.50-5.49	4	4.7
3.50-4.49	11	12.9
2.50-3.49	5	5.9
2.49未満	1	1.2
合計	85	100.0

臨床スキルについては、データの相対比較が適していますが（例、より高い平均率のある項目は業務でより頻度が高くなっている）、割合の絶対的意味を考慮することも重要です。読み手は臨床スキルの評価スケールの回答選択肢（アンカーともいう）が次のものであることに留意してください。

- 1) 仮にあったとしても、稀、
- 2) 時々、
- 3) いつもではないが通常。

頻度の平均率は1.31（#35: デザインリサーチ）から2.97（#12: アクティブリスニング）の範囲でした。頻度の平均率は、全50のトピックに対して算出され、2.34でした。標準偏差は0.45でした。全50のトピックに対する平均頻度率のグループ別頻度の分布は表11に示されています。

表11.トピックの平均率の分布

平均率	頻度	率
2.49以上	22	44.0
1.50-2.49	26	52.0
1.49未満	2	4.0
合計	50	100.0

先に述べたとおり、調査には人口統計の質問が含まれているため、回答者についての説明的情報が提供されました。しかしながら、一部の人口統計の質問については、様々なサブグループの人がラクテーション・コンサルタントに必要なトピックを確認すること、評価が国際試験の多様性の受け入れを保証するのに十分有意義なレベルを超えていることが重要です。臨床所見と臨床スキルに関するデータは、関連するサブグループ別に内訳され、PATFによる評価に利用できるものでした。

試験仕様書

試験仕様書（または詳細内容概要）を開発するにあたり、当該分野の専門家の判断を使って、業務分析調査により収集されたデータを解釈しました。本レポートの目的上、試験仕様書は機密文書として定義されます。仕様書は試験開発プロセスを進めるために使用され、類似の試験形式の開発を行うのに十分な内容を含んでいます。詳細内容概要は、試験仕様書のサブセットとして定義することができます。この文書は、受験者、問題作成者、その他関係者のための概要書で利用可能な内容の詳細な一覧を含んでいます。全試験項目は、試験開発の過程において、試験仕様書に一致するための第一歩として、詳細内容概要にリンクする必要があります。

国際資格試験プログラムにとって特に重要なのは、試験仕様書が資格プログラムに参加する全グループの責務を適切に反映する必要があるということです。このため、重要なのは、試験仕様書または試験のいずれにも、試験対象者の重要な責務とはみなされないトピックを含めないことです。

一部の判定ルールは、トピックがアセスメントに不適切であるとみなされ、詳細内容概要から削除すべきかという基準を決定するにあたって、PATFによる検討が提案されました。検討された一般的な領域は、2014年9月に開催された会議の中で、PATFにより話し合わせ、調査に含まれる様々な人口統計的特性に基づくものでした。判定ルールを適用することにより、ラクテーション・コンサルタントの人口統計的な代表グループが判断するとおり、ラクテーション・コンサルタントの責務を反映した検査結果が確実に得られます。

全体の回答グループに基づき、PATFにより3つの判定ルールが臨床所見トピックに採用されました。1つ目は、臨床所見は「業務の一部」でなければならないということです。回答者の一定の割合が「わからない」を示す場合、トピックは不適切とみなされました。2つ目は、トピックは実践重視でなければならないということです。これは、PATFが特定した閾値を超える平均値により裏付けられました。3つ目は、トピックは実践するために必須のものでなければならないということです。これは、PATFが採用した臨界指標により裏付けられました。最初の3つの判定ルールに加え、PATFは臨界指標のサブグループ分析に基づき、8つの判定ルールを決めました。これらの判定ルールは調査の言語翻訳、主要な職場状況、地理的所在地、第1言語、教育レベル、資格ステータス、経験年数（認定済みか否かに関わらず）に基づいていました。これらの11の判定ルールの適用により、13の臨床所見トピックが排除され、IBCLC試験には含まれません。

同様のプロセスは、異なる評価スケールのため、若干の違いはありますが、臨床スキルのトピックに関連した判定ルールおよび基準の構築にも使われました。1つ目のルールは、臨床スキルが実務の一部であること、2つ目のルールは、活動において頻繁に見られることです。臨床所見のトピックに使用された8つのサブグループ分析が臨床スキルにも適用されました。10の判定ルールを適用した結果、合計12の臨床スキルのトピックが除かれました。

調査の立案にあたって、PATFは各トピックが関連する主要な知識分野に明確にリンクしているかを確認しました。2014年9月の会議において、PATFはこのリンクを再確認しました。問題作成者は、特定のトピックに必要な能力に応じて、項目を分類し、項目が主要分野に関連していることを確かめるよう指示されます。項目を承認するにあたって、試験委員会は同様にこのリンクを確認します。

PATFは、最終的な75の臨床所見トピックと37の臨床スキルトピックが、適切な内容をカバーするため、合計175の多項選択式試験項目により適切に審査できると判断しました。アイテムライターは、トピックに内在する知識分野がアセスメントに適しており、項目がトピックに必要な能力に直接関連しているという報告を受けます。試験の項目数に対する合意がなされると、PATFはこれらの項目が主要分野全体に及んでいるかを話し合いました。各主要およびその他の知識領域内の評価と幅広い内容に基づき、PATFは、表12に示されるように、相互作用のプロセスを使って、主要およびその他の領域全体に項目が及んでいるかを確認しました。

表12. 詳細内容概要について

	項目数
I. 成長および栄養	26
II. 生理学および内分泌学	24
III. 病理学	31
IV. 薬理学および毒物学	13
V. 心理学、社会学、人類学	21
VI. 技術	25
VII. 臨床スキル	35
合計	175

PATFは第2階層が試験仕様書の一部として適切であることも確認しました。様々な年齢のクライアントに関連する能力が、見込まれる第2階層として話し合われました。PATFは調査回答者がどのくらいの頻度で各年齢グループを扱い、各年齢グループのクライアントの割合はどの程度かという調査によって収集されたデータを使って、各年齢グループに必要な項目数または一般原則に結びついている項目数を確認しました。

加えて、業務とのリンクを確保するために、業務分析調査結果により文書化されたとおり、試験項目はケア計画の構築に関連する重要な責務と関連しています。それは次のとおりです。1) アセスメント、2) 計画立案、3) 文書、4) 評価、5) 母親の目標設定を支援、6) 問診、および7) 他の医療機関と提携。PATFは、175の項目のうち、IBLCEが午前の部ではその約半数を画像なしで、午後の部では、残りの半分を画像あり、または事例に関連した項目の実施を計画していることも確認しました。試験仕様書に関して、2014年9月の会議において、PATFは全員一致で賛成し、続いて、IBLCE評議会がレビューし、承認しました。続くページでは、詳細内容概要の全体が記載されています。



Lawrence J. Fabrey, PhD
Lily
Chuang, MSサイ
コメトリック部門
1月20日



ラクテーション・コンサルタンツ資格試験国際評議会 (IBLCE)
 国際認定ラクテーション・コンサルタンツ® (IBCLC®)
 詳細内容概要

項目
数

I. 成長と栄養

26

A. 乳児

1. 月齢別哺乳行動
2. 食物不耐性／アレルギー
3. 乳児解剖学と解剖学的問題や口腔学的問題
4. 補完食の導入
5. 低出生体重
6. 母乳銀行－公式と非公式
7. 正常な乳児行動
8. 栄養所要量－早産児
9. 早産児の発達と成長
10. 肌の色調、筋緊張、反射
11. 正常産児の発達と成長
12. 在胎週数を修正した WHO 成長曲線

B. 母体

1. 乳房の発達と成長
2. 乳房の手術
3. 母乳の成分
4. 母体の解剖学的問題
5. 母体の栄養状態
6. 乳頭の構造とバリエーション

II. 生理学と内分泌学

24


1. 糖尿病
2. 不妊の問題
3. 母体の代謝内分泌疾患(例：甲状腺、多嚢胞性卵巣症候群)
4. 母体の自己免疫疾患
5. 多胎
6. 新生児の低血糖
7. 妊娠と母乳育児－タンデム授乳(兄弟同時授乳)
8. 母乳復帰
9. 排便と排尿

III 病理学

31

A. 乳児

1. アレルギー
2. 舌小帯短縮症
3. 口唇口蓋裂
4. 先天性奇形(例：消化管、心臓)

 <p style="text-align: center;">ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会 (IBCLE) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 詳細内容概要</p>	項目数
5. 胃食道逆流症(GERD)、逆流 6. 高ビリルビン血症 7. 乳児急性疾患(細菌性、ウイルス性、真菌性、全身性) 8. 乳児の神経学的障害 9. 在胎不当過小(SGA)、在胎不当過大(LGA)	
<p style="text-align: center;">B. 母体</p>	
1. 膿瘍 2. 射乳反射の機能障害 3. 母体の急性疾患(細菌性、ウイルス性、真菌性、全身性) 4. 母体の慢性疾患 5. 母体の障害(身体的、神経学的) 6. 乳腺炎 7. 母乳の供給(不足もしくは過剰) 8. 乳頭と乳房の状態 9. 乳頭痛と乳頭損傷 10. 産後の異常出血 11. 子癇前症／妊娠高血圧症候群	
<p style="text-align: center;">IV. 薬理学と毒物学</p>	13
1. 酒とタバコ 2. 避妊法 3. 薬物乱用 4. 乳汁分泌促進薬 5. ジェルによる保護／乳頭クリーム 6. 薬物(処方薬、市販薬、診断と治療の手順) 7. 薬草	
<p style="text-align: center;">V. 心理学、社会学、人類学</p>	21
1. 親になること 2. お産の慣習 3. 授乳中の食事、母乳分泌に影響する食物 4. 仕事－職場復帰 5. 家族のライフスタイル 6. 支援ネットワークのを見つけ方 7. 母親のメンタルヘルス 8. 母親の心理的問題／認知の問題 9. 母親と赤ちゃんとの関係 10. 安全な睡眠 11. 卒乳 12. 文化的適応力	



ラクテーション・コンサルタンツ資格試験国際評議会 (IBCLE)
 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®)
 詳細内容概要

項目
数

VI 技術

25

1. 効果的な乳汁移行(医学的適応のある補足を含む)
2. 生後1時間
3. 吸着 (吸い付き方)
4. 供給量の管理
5. 搾乳
6. 授乳時の姿勢
7. 哺乳拒否、哺乳びん拒否
8. 肌と肌とのふれあい(カンガルーケア)
9. 哺乳量測定

VII 臨床の技術

35

A. 補助器具とその使用技術


1. 授乳用デバイス(例：チューブ、カップ、シリンジ、人工乳首)
2. 搾母乳の保存と取り扱い方
3. 乳頭保護器(例：ニップルシールド、乳頭吸引器)
4. おしゃぶり
5. 搾乳器
6. 体重計
7. コミュニケーションスキル
8. ウェブサイト

B. 教育とコミュニケーション

1. 積極的傾聴
2. 予備的ガイダンス
3. ケア計画の作成と共有
4. 文書の作成
5. 母親と家族の教育
6. 専門家、ピアサポーター、学生の教育
7. 授乳期間の延長
8. 精神的サポート
9. エンパワーメント
10. 集団サポート

C. 倫理のおよび法的問題

1. 公共の場での授乳
2. 臨床能力
3. 職務行動規範
4. 守秘義務の原則
5. WHO コード - 啓発と政策

 <p>ラクテーション・コンサ.ルタント資格試験国際評議会 (IBCCLC) 国際認定ラクテーション・コンサルタント® (IBCLC®) 詳細内容概要</p>	項目数
D. 研究	
1. 実践への研究の応用 2. 研究結果の評価と解釈 3. 政策やプロトコルの作成にむけた研究の使用	
E. 公衆衛生と支援運動	
1. 赤ちゃんにやさしい病院運動の啓発 2. 母乳代用品のマーケティングに関する国際規準(WHO コード)順守の啓発 3. 保健医療制度内におけるお母さんと赤ちゃんのためのアドボカシー 4. 母乳育児に関する政策の作成	
合計項目数	175

約半分の項目に画像が含まれ、午後の部に実施されます。画像を含まない項目は午前の部に実施されます。試験問題は、実践分析結果のデータをもとに作成され、出題内容はケア計画の作成に関連する以下の内容を含みます：

1. アセスメント
2. 計画立案
3. 文書作成
4. 評価
5. 母親の目標設定を支援
6. 問診
7. 他の医療機関と提携

一般的な項目を問う問題を除いて試験問題は以下のガイドラインに沿い、期間月齢区分に応じて出題されます。

期間月齢区分	目標出題数*
1. 出産前(妊娠中)	8
2. 陣痛(妊娠中)／出産 - 周産期	9
3. 早産	12
4. 生後0～2 日	21
5. 生後3～14 日	21
6. 生後15～28	20
7. 生後1～3 か月	12
8. 生後4～6 か月	12
9. 生後7～12 か月	5
10. 生後12 か月以上	5
11. 一般項目(妊娠前を含む)	50
合計	175

*各々の項目の目標出題数は目安であり多少前後します。